

2019年度 事業報告書

2019年4月 1日から

2020年3月31日まで

一般社団法人 日本ゴルフ用品協会

2019年度事業報告書

I. 法人の概要

1. 設立年月日

社団法人設立昭和57年7月3日（平成25年4月1日に一般社団法人に移行）

2. 定款に定める目的

この法人は、ゴルフ用品の品質、性能の向上と安全性を確保しつつ、生産及び流通の合理化と消費者対策の改善を図って、ゴルフ用品産業の健全な発展に努め、もって、国民の体育と生活の向上に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- 1) ゴルフ用品の生産、流通及び消費に関する調査
- 2) ゴルフ用品の生産技術の開発及び安全性の確保
- 3) ゴルフ用品の品質及び性能の規格化の推進
- 4) ゴルフ用品の模倣品や偽造品防止対策
- 5) ゴルフ用品の工業所有権の保全
- 6) ゴルフ用品の普及、啓蒙の促進
- 7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁

内閣府 大臣官房 公益法人行政担当室

事業の相談は 経済産業省 製造産業局生活製品課

5. 会員の状況

- 1) 2019年4月1日現在の正会員、賛助会員の数
 - (1) 正会員 273
 - (2) 賛助会員 12 合計 285社
- 2) 2019年度に入会された正会員、賛助会員の数
 - (1) 正会員 2
 - (2) 賛助会員 1
- 3) 2019年度に退会された正会員、賛助会員の数
 - (1) 正会員 13
 - (2) 賛助会員 1
- 4) 2020年3月31日現在の正会員、賛助会員の数
 - (1) 正会員 262
 - (2) 賛助会員 12 合計 274社

6. 役員の状況

会 長	1名 (非常勤)	常任理事	12名 (非常勤)
副 会 長	3名 (非常勤)	理 事	20名 (非常勤)
専務理事	1名 (常勤)	監 事	3名 (非常勤)

2020.3.31 現在

7. 主たる事務所と事務局の構成及び支部の状況

- 1) 主たる事務所 東京都千代田区外神田6-11-11 神田小林ビル4F
- 2) 事務局の構成
 - 理 事 (常 勤) 2名 (専務理事・男子、事務局長・男子)
 - 職 員 (常 勤) 2名 (女子2)
 - 嘱 託 1名 (男子1 西日本)
- 3) 支部の状況
 - 東日本支部：東京都千代田区外神田6-11-11 神田小林ビル4F
 - 西日本支部：大阪府大阪市淀川区西宮原1-8-24 新大阪第3ドイビル6階
 - 中部日本支部：愛知県名古屋市中区 千代田5-4-16 東郷ビル5階
(株)ダンロップスポーツマーケティング内

II. 主たる事業内容

1. 会員の増強と組織の活性化 (総務委員会・広報委員会)

1) 会員相互の連携と勧誘活動

協会ホームページに於いて入会勧誘活動を行ったが、正会員2社の入会に留まった。
更に倒産、廃業、閉店などを含め退会が13社を数え、期末正会員数は11社減の262社となった。なお、賛助会員数は±0の12社であった。

2) 広報紙J G G Aニュースを隔月奇数月発行 (年間6回)

協会の主催事業及び協力事業の報告、各支部の活動報告、各委員会の活動報告、国内外の情報、市場データの紹介、業界の活性化活動の状況など幅広い情報の中から、毎月開催される広報委員会において編集作業を行い適宜掲載した。また会員に対してニュースの送付手段については従来の郵送に加え、会員窓口の方へのメール送信を行い閲覧の広がりを進めた。

J G G Aニュースの発行を奇数月の隔月にしたことに拠り、若干タイムリーな連絡及び情報提供が懸念されたがホームページを使用し、イベントの告知や開催の結果、統計情報などはニュース紙面において従来通りしっかりと伝えて行く事として来た。

19番ホールについては引き続き理事に協力を求め寄稿してもらった。

3) OFFICIAL HANDBOOK (会員名簿) の発刊

2019年は役員改選の年度の為、10月にOFFICIAL HANDBOOKを発行した。

代表者、住所、TEL、ホームページ、メールアドレスの確認、修正は随時発行時に反映させた。

4) ホームページ (HP) の有効活用

ジャパンゴルフフェア、JGGAニュースの紹介、事業内容の紹介、業界情報のリンク、バナーによる関連団体の活動内容の紹介、製造渉外委員会で検討した各種取決め情報等のほか新着情

報は「お知らせ」でタイムリーに掲載した。またHPの更新頻度を高め閲覧者の増加、情報発信の強化が図られた。

2. 教育・研究事業

1) 第44期ゴルフ用品販売技術者講習会を開催（講習会委員会）

＊講習会の目的

ゴルフクラブ及びゴルフ用品の科学的基礎知識を修得し、理論に基づいた販売技術の向上を推進すると共に消費者へのサービス向上とゴルフ用品産業のレベルアップに貢献することを目的とする。

＊講習期間 2019年8月20日（火）～8月23日（金）の4日間

＊講習会場及び宿泊場所

A P市ヶ谷（千代田区五番町）

＊科目及び講師と講義時間

	科目	講師名	所属	時間	配点
(1)	ボール	片山 博之	住友ゴム工業(株)	1時間20分	70
(2)	ゴルフ用具	渡邊 雅彦	ブリヂストンスポーツ(株)	1時間30分	100
(3)	ウェア	川井 秋彦	(株)デサント	1時間20分	60
(4)	ゴルフシャフト	谷津田愛樹	日本シャフト(株)	1時間20分	70
(5)	ゴルフクラブの基礎知識	大田 泰之	ミズノ(株)	2時間00分	150
(6)	ゴルフクラブの進化	中嶋 元	(株)フォーティーン	1時間20分	80
(7)	ツアープロのクラブサポート	女部田真弘	ミズノ(株)	1時間10分	50
(8)	クラブフィッティング	平井 誠一	ミズノ(株)	1時間10分	50
(9)	ゴルフ用品市場動向	三石 茂樹	(株)矢野経済研究所	1時間20分	70
(10)	ゴルフコンディショニング理論	石渡 俊彦	スポーツコンディショニング研究所	2時間00分	70
(11)	接客技術	金子 郁美	(株)EMMY	2時間00分	50
(12)	店頭活性化	宮木 淳	日本VMD協会	1時間30分	60
(13)	ゴルフ用具規則	大久保裕司	(公財)日本ゴルフ協会	1時間20分	60
(14)	公正競争規約	長谷川 浩	ミズノ(株)	1時間20分	60
	合計			20時間40分	1000

＊科目及び講師と講義時間

＊講師人数：14名（内、外部講師5名）

＊講習時間：20時間40分（14科目）

＊受講者数：66名（男性53名、女性13名）

＊受講者の年齢 平均 35.0歳（最高68歳、最低年齢22歳）

＊認定試験合格者数：66名

＊認定試験合格者には資格認定証と吊り下げ用写真入り認定パスカードを授与した。

*累計合格者数：4,189名

*合計得点 平均 882.3点(1,000点満点) 最高 971点、最低 720点

2) セミナーの開催

(1) 『ゴルフ用品セミナー』

【日時】2020年3月20日(金・祝) 12:00~13:30

【場所】パシフィコ横浜 アネックスホールF206

【講師】(株)アンプラス

【タイトル】「弾道計測器の基礎と運用」

フェア中止の為、セミナーも中止

(2) R&Aセミナー

【日時】2020年3月20日(金・祝) 14:30~15:45

【場所】パシフィコ横浜 アネックスホールF206

【講師】スティーブ・オットー教授(R&A)

【タイトル】「エキップメントスタンダードセミナー」

フェア中止の為、セミナーも中止

3) ゴルフ用品の性能及び品質の向上、並びに安全性を確保する為の活動(製造渉外委員会)

(1) 製造渉外委員会:2019年5/9、9/12、11/7、2020年1/9の計4回開催。
2020年3/5にも開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により会合は中止し、メールによる書面確認のみの実施となった。

(1-1) スペック測定ガイドライン関連

ガイドラインの中で、特にクラブ長さに関して、測定しづらいという問い合わせがあったため、ウッド、アイアンの長さ測定の基準となるクラブを作製し、2020年3月10日より会員企業に貸し出しを開始、JGGA ニュース3月号及びJGGA ホームページでアナウンスした。

長さ以外のクラブスペック7項目に関しても、多少の測定誤差は発生するものの、参考値を記載することにより、測定精度向上に役立てて貰うこととした。

(1-2) クラブの使用方法に関する啓蒙活動

現行のJGGA 統一取扱い説明書にアジャスタブル機構等に関する記載がないことから、下記項目を追加記載したJGGA 統一取扱い説明書の改訂案を作成した。

- ・アジャスタブル機構では、緩みの無いように締めること
- ・キャディバッグからクラブを取り出すときにシャフトの折れに注意
- ・長尺クラブの取扱い注意項目

製品安全協会に確認して貰った後、会員企業に改定のご案内をする予定である。

(1-3) 脱廃棄プラスチックに関して

委員会各社のプラスチック使用状況をアンケート調査し現状のとりまとめを行った。

今後委員会で削減のためのアイデアをとりまとめ、実現の可能性を検討していく。

(2) 関連団体とのミーティング開催

(2-1) R&A とミーティング開催

2019年6月21日、2020年2月5日の2回、R&A のオットー教授を交えミーティングを実施した。

2020年3月20日にもミーティングを予定していましたが、JGF同様中止となった。

① ペンデュラム機器について（6／21）

- ・ 5月第1週にダイヤモンドカップでCT値測定。195本テストし32本が不適合であった。不適合の主な原因は、経年使用によるCT値アップ。メーカーでの測定器使用方法が正確でないことも考えられる。8カ月の使用でCT値が8アップしたクラブもあった。不適合クラブはすべてツアーバンで適合品に交換した。
- ・ 2020年のダイヤモンドカップでも実施予定。
- ・ フェースが薄い、ソールの溝が深い、コンポジットモデル等、設計によっては経年変化が起きやすい。ヘッドスピードの速い選手が使った場合も、経年変化が起きやすくなる。
- ・ USPGA ツアーでは、USGA が年間に5、6回、ツアーバンで実施している。
- ・ 適切な試験方法の伝達が今回の Otto 氏来日目的の一つ。

JGA に常設している測定器を用いて、正しい測定方法の実演。シャフトの違い(スチール、カーボン等)は、測定結果にはほとんど影響しない。

正しい測定値が得られないのは、ノイズの影響もある。

シグナルコンディショナーを使用すれば、ノイズを防ぐことができる。

② ディスタンスインサイトプロジェクトに関して（2／5）

2月4日に発表されたディスタンスインサイトプロジェクトのレポートに関して、内容の詳細説明があり、質疑応答を実施した。

結論① この100年で飛距離は伸び、ゴルフ場の全長も伸びている。この要因は、用具の革新的進展、コース状態改善、ゴルフプレーヤーの運動能力向上である。

飛距離が伸び、コース全長が伸びるのはゴルフの将来にとって望ましくはない。

理由1 ますます飛距離が伸びても、これ以上ゴルフコースをのばせないという戦略的課題。

ゴルフ本来のバランスが崩れる。

正確性やパットを犠牲にして飛距離に重きを置いたゴルフになる。

理由2 ますます飛距離が伸び、コース全長を長くするとすると、更に必要となるものが発生する。

設備投資による社会的懸念（水、化学品、資源活用、環境）を招く。

結論② 一般的にはアマチュア女性のドライバー飛距離は150ヤード。その場合、ゴルフ場全長は4200yが相応しい。ところが、日本、オーストラリア、カナダ、米、英に、そのような短いコースはない。という事は、短いコースを持つ、もしくはフォワードティーから打つ、ということが必要になる。

次のステップとして、クラブ、ボール両方の幅広い見直しを検討し、45日以内にリサーチトピックリストを発表する。現時点で選択肢として考えている内容は下記の通り。

- ① 飛ばないクラブ、ボールを使用することや、追加本数制限などのローカルルールを制定すること。
- ② 継続する飛距離の増加を和らげるための既存仕様の調整や新仕様の必要性の検討。
リスト発表後9～12カ月かけて、飛距離をコントロールする事を十分に行えるかを検証していく。

ルール改正となる場合でも、3年程度はかかると思われる。

当初3月20日に次のミーティングを開催する予定だったが、JGF同様中止となったため、4月15日に改めてミーティングを開催予定。新型コロナウイルスの影響でリサーチトピックリストの発表も遅れており、3月末時点では発表されておらず、状況がよくなるまで延期される見込み。

(2-2) USGMC とのミーティング開催

2020年1月23日に、オーランドのPGAゴルフショーの会場でUSGMC:Rawleigh Grove委員長(PING)、Stephen Gingrich氏(Cleveland、電話会議で参加)とミーティングを実施しました。

■ USGMC の活動報告

① 偽造防止作業部会での下記活動。

- ・2019年度訴訟・犯罪関連
- ・政府との関係性構築/中国税関トレーニング

基本は中国の弁護士事務所に業務を依頼するとともに、USGMCメンバーも中国現地に足を運び、模倣品対策の取組みを行っている。最近インターネットでの検索調査に力を入れており、不正を見つけたら、売買中止命令を出してもらおうと共に、送金ストップの手続きをしている。

2019年実績約10万ドル) また、70のドメインを停止した。

② We are golf 活動

- ・今後ゴルフをどうやって盛り上げていくかを課題として取り組んでいる。
- ・どんな人がゴルフをしているかのデータ収集を強化している。

③ ルール関連

- ・クラブ長さの測り方、CT計測方法に関して、R&AとUSGAの違いを議論している。

④ 脱廃棄プラスチック

- ・例えば、海にボールを打ち込んだ場合、海中でどのような成分が出ているのかという話が出た。カリフォルニアではボールにどのようなケミカルが入っているのかEPA(米国環境保護庁)が調べようとする動きもある。

■ JGGA 製造渉外委員会 活動報告

① 模倣品対策報告

② ラブ使用方法に関する啓蒙活動報告

ミーティング後にUSGMCから依頼があり、JGGAで作成している取扱い説明書をUSGMC加盟メーカーでも採用したいということで、フォーマットを共有し、内容をアレンジして使用してもらうこととした。

③ 廃棄プラスチック

[USGMCコメント] アメリカではメーカーによって異なるがグリップのシュリンクや、ヘッドのPPは無いメーカーもある。ゴルフ用品に限らず、日本の包装は不思議なほど過剰になっている。

4) 製造物責任法(PL法)に係る製品安全対策の推進

① 消費生活用製品の製品事故、製品苦情情報への対応

(一財)生活用品振興センター、(一財)製品安全協会より製品事故、製品苦情に関する情

報提供や生活用品P Lセンターインフォメーションなどの活用でそれぞれに連携を図る。

② ゴルフクラブ及びゴルフクラブシャフトの統一取扱い説明書の周知徹底と有償頒布を行った。

③ 団体P L保険契約（東京海上日動火災）

新規入会会員への紹介を継続し昨年より1社増加し11社と契約を更新した。

5) 物流の共同化に向けた研究（流通委員会）

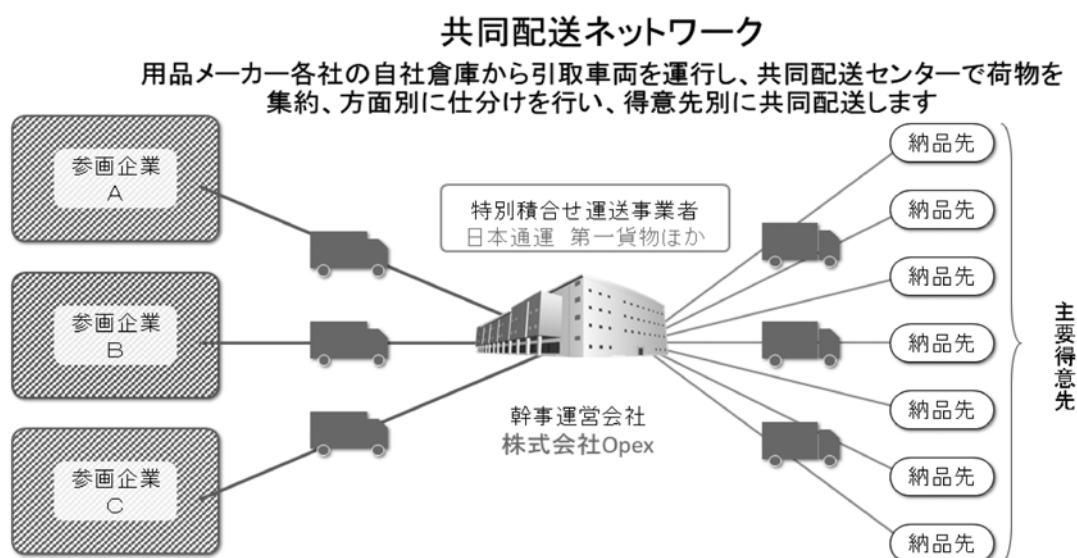
1、共同配送推進の背景。

近年、ゴルフ人口の減少、社会経済動向の変化や個人消費の現象などの影響によりゴルフ用品業界は厳しい経営環境が続いています。一方、運送業界では慢性的なドライバー不足と、労働時間等法令順守の強化、さらには昨今のネット通販の急増にかかわる宅配事業の採算悪化などが経営を圧迫、大手運送会社の運賃値上げ要請が増加しています。このような内外の環境変化の影響を受け、JGGA 会員各社の物流コストは増大傾向にあり、1社でのコスト削減には限界にきており、業界全体で知恵を出し仕組みを作り物流コストを削減する必要があります。

2、「ゴルフ共配便」の仕組み

これまでメーカー各社が得意先（小売店）にそれぞれ送っていた荷物を提携運送会社が集約し、各店舗への配送を行う仕組みです。JGGA ではこの事業を「ゴルフ共配便」と命名しJGGA 推奨事業として2016年2月より取り組んでまいりました。当初は集中化によるコスト効率向上を図り出荷先を関東地区の量販店を対象にスタート。2018年4月からは配送地域を全国に広げ、配送先も全業態に拡大し本格運用を開始、2018年末には7社での運用となり出荷量も増えコスト削減効果も着実に実現。昨年2019年末現在10社の運用となっております。

20年度からは参画企業の個別要望に応えるために料金体系の見直しを計画しております。

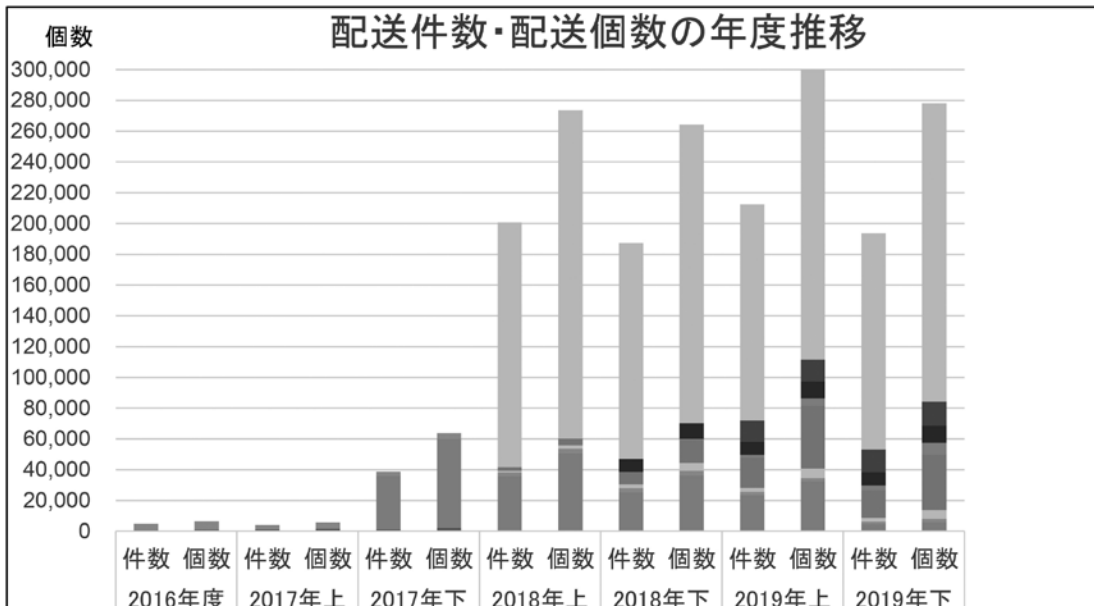


3、「ゴルフ共配便」の実績と削減効果予想

ゴルフ共配便配送実績				
各年度末時点	2016年	2017年	2018年	2019年
配送対象地域	関東地区量販670店舗		全国全業態	
利用参画企業数	2社	3社	7社	10社
配送件数	4,998	42,888	388,019	405,963
配送個口数	6,437	69,525	537,730	583,941

削減効果想定				
会社	月次出荷規模		個/件	削減率
	件数	個数		
A社	280	320	1.1	10%
B社	430	1,000	2.3	19%
C社	2,300	2,500	1.1	11%
D社	3,200	6,400	2.0	20%

※複数個口になればなるほど削減効果が増加



2016年度		2017年上期		2017年下期		2018年上期		2018年下期		2019年上期		2019年下期	
件数	個数	件数	個数	件数	個数	件数	個数	件数	個数	件数	個数	件数	個数
4,998	6,437	4,152	5,693	38,736	63,832	200,721	273,535	187,298	264,199	212,402	305,865	193,561	278,076

4、配送条件と運賃（運賃は月間の配送数量により決定）

「ゴルフ共配便」の大きな特徴は、同じ店舗に出荷した1日の出荷個数を合算し複数個口が累積して安くなる両機システムです。2020年度からは、現在運用中の梱包ごとに個別に計算する『個口料金制』に加え、参加企業の商品特性（重量や大きさ）や、出荷ボリュームの実態を踏まえた1回の出荷先に対する貨物の量をまとめて計算する『重量制』の2つの料金体系を計画中。

ゴルフ共配便 個口料金制運

配送運賃			
関東発 ← 関東着	配送個数/日	1個口	2個以上
	20~100個未満	550円	450円
	100~300個未満	520円	430円
	300個以上	480円	400円

配送運賃は全国を13エリアに分け、発着地毎の単価をお見積りいたします。

配送条件（個口料金制の基準）

1. 営業日：月曜日～金曜日（休日、祝日は除く）
2. 集荷時間：原則18時まで
3. 配送時間：原則翌日配送、時間指定は不可。
4. 対象貨物：1梱包：原則重量5kgまで結束時も5kgまでとする。5kg超の場合は日通エクスプレスハイスピード価格で対応。
5. 対象先：個人宅配を除く、全国・全業態のゴルフ用品取扱小売店舗（館内配送手数料は実費請求）

重量制運賃のイメージ

ゴルフ共配便

まとめて計算



3個/15kg以上

お得

便利

大手宅配便 A

個別に計算

120 サイズ



150 サイズ



180 サイズ



※荷物1個当たりの重量は、実重量と容積重量の大きい方を適用し料金を反映。

5. 流通委員会としての今後の取り組み

①ゴルフ共同配送基準見直し

- 重量制との併用開始

ゴルフ共同配送の基準は継続。それ以外のサイズ、重量の大・小に対応すべくサイズと重量別タリフを策定。企業の出荷実態に併せた配送メニューを準備する。

但し、1企業に対する個建てと重量建ての併用は行はない。

- 重量制実施に伴い、販促物等の配送も運用開始。

②物流倉庫の共同利用について

- 将来の共同倉庫構想実現に向け、倉庫情報の提供と斡旋を推進。

既に2020年1月に倉庫斡旋済。

3. 需要開発事業

[1] ジャパンゴルフフェア2020の開催（ゴルフフェア委員会・実行委員会）

残念ながら本年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて開催を中止とした。

基本方針

ジャパンゴルフフェアは、日本のゴルフの活性化を最大の目標としつつ、さらに国際性を追求し、アジアを代表するインターナショナルなゴルフショーを目指す。

◇世界が注目するビッグマーケット、日本とアジアを中心としたゴルフ情報ターミナルとしての場。

- ◇ゴルフビジネス実践の場
- ◇ゴルフ産業分野間のコミュニケーションの場
- ◇健全なゴルフ文化を育成し、ゴルファーを刺激する場
- ◇社会貢献活動の場

1) 開催概要

- 名称：第54回ジャパングolfフェア2020 (54rd JAPAN GOLF FAIR 2020)
- 開催スローガン：ゴルフのすべてを見る、触れる。
- 会期：2020年3月19日(木)～3月21日(土)3日間
- 開場時間：10:00～19:00(最終日は17:00まで)
- 会場：パシフィコ横浜 展示ホール・アネックスホール
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1
- 主催：日本ゴルフ用品協会
- 後援：経済産業省、横浜市、アメリカ大使館商務部、日本貿易振興機構(ジェトロ)、日本ゴルフ協会、全日本ゴルフ練習場連盟、日本ゴルフ場経営者協会、日本パブリックゴルフ協会、日本プロゴルフ協会、日本ゴルフツアー機構、日本女子プロゴルフ協会、ゴルフ緑化促進会、日本ゴルフトーナメント振興協会、日本芝草研究開発機構、日本ゴルフジャーナリスト協会、ジャパングolfツアー選手会、日本ゴルフ関連団体協議会、ウィズエイジングゴルフ協議会
- 協力：BUZZ GOLF、EVEN、ringolf、UUUM GOLF、アルバトロスビュー、ゴルフクラシック、ゴルフダイジェスト、ゴルフダイジェスト・オンライン、ゴルフトゥデイ、ジュピターゴルフネットワーク、パーゴルフ、バリューゴルフ、レジーナ、ワッグル
- 入場料：無料
- 動員目標：60,000名
- 企画：日本ゴルフ用品協会 ゴルフフェア委員会
ジャパングolfフェア2020実行委員会
- 運営：ジャパングolfフェア運営事務局

2) 出展社データ

- <出展社数> 2020年2月14日現在 * ()内は去年の数字
219社(昨年 219社) 465コマ(昨年456コマ)
※海外出展社数・・・8ヶ国25社26コマ(5ヶ国18社19コマ)
(オーストラリア×1社、シンガポール×1社、中国×10社、韓国×6社、タイ×2社、イギリス×2社、台湾×2社、アメリカ×1社)を含む

3) JGF 2020中止を決定した経緯と理由

- ◆2020年2月20日にJGGA事務局より、理事全員にメールで中止の見解を打診し理事37名中30名の賛同を頂き、その後会長に報告し2月20日の17時過ぎに中止を決定した。
- その結果を受け21日に出展社、後援団体、協力ゴルフメディア、ゴルフ関連団体へ告知。
- 21日14時以降JGF、JGGAホームページ並びにFACEBOOK、instagramなどにも掲載

告知した。

◆その主な理由としては以下の通り

- ① 会社として大きなイベントへの参加は社員の感染リスクを回避する必要があり自粛する必要が出て来たこと。
 - ② 様々な感染対策を事務局としては打ち出したが、当然のことながら完全に感染を防止することは不可能で万一会場内での感染者が出た場合、その社会的な影響とメディアによる報道がゴルフ界に与える負の影響は甚大である。
 - ③ 出展社の社員から感染者が発生した場合はその企業への法的なリスクも免れない。
 - ④ JGF 2020では様々なイベントを計画しているが濃厚接触を疑われるコンテンツも多く、それらのイベントを取止めるとフェアの魅力が大きく損なわれる。
- * 全ては出展関係者、来場者の感染リスクを排除しきれない可能性が高く、健康面や安全面を第一に考えた結果、JGF 2020は中止するべきで有るという結論となった。

4) フェア中止に伴う出展料の返金対応

ジャパングolfフェア2020(会期3/19~3/21)は中止を決定し、その後の対応として出展料の返金について以下の様に考え理事会に諮り決定後出展社へ通知し、返金の対応をした。出展要項の12-4条①項には、「展示会開催が著しく困難となった」理由としての「不可抗力」の例として「感染症」も明記されていること。

また開催中止の判断の時点における

- (A) コロナウイルスによる肺炎の事例の急速な増加と地域的な広がり
- (B) それに伴い他の大型のイベント(参加者数が多数のもの)の多くが中止となっていたこと
- (C) JGFは室内の密閉された空間で行われるイベントであり、参加者は実際に製品を手にとって感触を確かめることに大きな意義があることなどを鑑みると、仮にコロナウイルスの保菌者がイベントに参加した場合、その感染がイベント参加者の中で拡大する危険性が相当にあることを否定しがたいことなどの事情に基づくと、開催中止の判断の時点において、「展示会開催が著しく困難となった場合」に該当すると考えられると判断致した。

以上の理由から、各出展社がこの出展要項を出展にかかる契約の契約条件の一部として受諾して契約締結をしている通り、12-4条②項の「開催以前に、不可抗力により全日程が開催中止となった場合、当協会は弁済すべき必要経費を差し引いた出展小間料金を出展社に返却します。」の規定を適用することとした。

返金の具体的な計算方法は以下の通りである。

- ① 今回のジャパングolfフェア2020の中止は不可抗力によるものであると判断し、出展要項12-4条②項の条項を適用する。
- ② 弁済する必要経費とは例年JGFを実施するにあたり発生している通常支払うべきJGFにかかる費用でその金額の合計額は 約3,633万円
JGF2020の出展社から入金される出展料の総額は1億7,793万円
フェア中止に伴い弁済に必要な必要経費の出展料に対する比率は
$$3,633 \text{万円} / 1 \text{億}7,793 \text{万円} = 20.42\%$$
したがって出展各社には出展料から20.42%を除いた額を返金する
出展料 17,793万円

JGF 必要経費 3,633万円 (必要経費率 20.42%)
 出展社への返金額 14,159万円

[2] ペアスクランブルゴルフ大会の開催(活性化委員会・支部実行委員会)

2019年度は2支部でペアスクランブルゴルフ大会を開催した。

(1) 東日本支部

開催日時 2019年6月4日(火)

開催場所 野田市パブリックゴルフ場けやきコース(千葉県野田市)

主催 日本ゴルフ用品協会 活性化委員会

参加者 43組86名(内女性は31名 女性参加率36%)

競技方法 ペアスクランブル方式によるダブルペリア戦

結果 優勝 ケン&シン グロス64 HDCP +2.8 ネット66.8
 2位 フルーティーズ グロス69 HDCP 2.0 ネット67.0
 3位 インパルス グロス68 HDCP 0.8 ネット67.2
 以下飛び賞で表彰

◇バックパネル前で各チームの写真を撮影しベストドレッサー賞を決定したベストドレッサー賞は男女ペア「ドラゴン」チーム
 成績発表の後、成績上位者から並べられた賞品を選別して受賞して貰った。

◇賞品協賛社 15社(順不同)

二木ゴルフ、ダンロップスポーツマーケティング、キャスコ、ミズノ、マジスティゴルフ、キャロウェイゴルフ、ブリヂストンスポーツ、アクシネットジャパンインク、フォーティーン、ピンゴルフジャパン、プロギア、アキラプロダクツ、朝日ゴルフ、ヨネックス、ブロッサム

(2) 中部日本支部

開催日時 2019年7月26日(金)

開催場所 富士カントリー可児クラブ織部コース(岐阜県可児市)

主催 日本ゴルフ用品協会 中部支部

運営協力 カジュアルゴルフ(名古屋)

参加者 99チーム198名(うち女性64名 女性参加率32.3%)

競技方法 前半9ホールのスコアによるペア・スクランブル方式によるダブルペリア戦

結果 優勝 林(常)・林ペア ハーフ36 HDCP 2.4 ネット33.6
 2位 銅城・田中ペア ハーフ35 HDCP 1.2 ネット33.8
 3位 南田(涼)・南田ペア ハーフ35 HDCP 1.2 ネット33.8
 以下 飛び賞で表彰

◇スタート前に練習場でクラブの試打会を行い約6割の方が参加され、打席もフル稼働で有った。前半9ホールのスコアによる競技のため、18ホール終了時には成績も出揃っており、198名の参加にもかかわらず午後5時には後片付けも含めて、すべて終了をした。

参加者のアンケートでは「楽しかった。またやりたい」が176名から頂き好評な結果となった。

◇賞品協賛社 15社（順不同）

マジスティゴルフ、キャスコ、ヨネックス、キャロウェイゴルフ、デサントジャパン、本間ゴルフ、フォーティーン、グローブライド、ダンロップスポーツマーケティング、ミズノ、ブリヂストンスポーツ、テラーメイドゴルフ、プロギア、ヤマト徽章、カジュアルゴルフ

(3) 西日本支部

「オール関西エンジョイ・ペア・スクランブルゴルフ大会 2019」協賛

開催日時 2019年6月11日（火）～11月1日（金）

開催場所 よみうりカントリークラブ他 関西16コース

大会主催 (一社) 関西ゴルフ連盟及び関西ゴルフ連盟支配人会

募集人員 各会場とも 60ペア120名(最大)

協賛内容 お楽しみ抽選会用賞品のアレンジ(ヤトゴルフ、ギアサージで8会場ずつ担当)

[3] インダストリーカップの開催

ゴルフ業界に関わるものが一同に集い、自らゴルフのプレーを率先しておこない業界内の活力と活性化に繋げる為に、「ジャパンインダストリーカップ」として東日本大震災後の2011年より開催しており、2019年も東日本支部、西日本支部、中部日本支部の3か所で開催した。

(1) 第9回インダストリーカップ2019（ゴルフ関連企業対抗ゴルフ選手権）

開催日：2019年10月15日（火）

開催場所：日高カントリークラブ（埼玉県日高市）

参加チーム人数：スクラッチ部門 （14チーム55名）

：アンダーハンディ部門 （26チーム102名）

合計（40チーム157名）参加 企業23社 団体2団体

・成績 スクラッチ部門団体

優勝 ダンロップスポーツマーケティング 237

2位 ゴルフパートナー 237

3位 ゴルフダイジェストOL 238

*優勝と準優勝の上位3人のグロススコアの合計が同じだったため、4番目の選手のグロススコアで順位を決定した。

スクラッチ部門個人

優勝 根津 博嗣（ピンゴルフジャパン） 74

2位 榊原 光瑠（ダンロップスポーツマーケティング） 75

3位 井坂 昌文（ゴルフパートナー） 75

*2位と3位のグロススコアが同じだったため、マッチングスコア方式にて順位を決定した。

アンダーハンディ部門

優勝 本間ゴルフ 213.6

2位 ゴルフダイジェストオンラインA 214.2

3位 ブリヂストンスポーツ 215.6

(2) 第8回中部日本インダストリーカップ大会

開催日：2019年10月23日(水)

開催場所：涼仙ゴルフ倶楽部(三重県いなべ市)

参加人数：20組 40名

競技方法 2人1組のチーム戦(ベストボール方式)

団体戦成績	団体名(チーム名)	OUT	IN	TOTAL
1位	涼仙ゴルフ倶楽部	35	34	69
2位	ディテクト	36	36	72
3位	中日チーム	36	36	72

(3) 西日本支部 「聖地巡礼神戸ゴルフ倶楽部で体験会」

開催日：2019年10月8日(火)

開催場所：神戸ゴルフ倶楽部(兵庫県神戸市)

参加人数：16社 28名

開催概要：日本最古のゴルフ場を体験し、歴史を学びながら会員同士の親睦を図る。

*競技会では無く、会食時に支配人に拠る会場等の歴史講習会を開催する。

コースの特徴と難しさ

ゴルフの歴史博物館の様な落ち着いたクラシカルな雰囲気クラブハウスは建築上の貴重な工夫もされており必見の価値が有る。

パー3とパー4のみ、フロントティーで3,851ヤード。

アップダウンがきつい。

全てキャディ付プレー。プレーについてはプレーする際、クラブを10本(パター含む)までと制限とされるのでスタート前までにクラブを選別の上、専用ゴルフバックに詰替えが必要。

[4] 関連団体に対する協力事業

(1) 「第87回日本プロゴルフ選手権大会」に協力団体として参画した

開催日：2019年7月4日(木)～7日(日)

開催場所：いぶすきゴルフクラブ 開闢コース(鹿児島県指宿市)

イベント名称：JGGAギャラリーサービス企画

実施場所：ギャラリープラザ

入場者数：7,968人(昨年実績 27,195人) 台風の影響で初日は中止

《販売会》 実施日時：2019年7月5日(金)～7日(日) 7:00～17:00

出展企業：ダンロップスポーツエンタープライズ、コラントッテ、阪神交易、以上3社

《優勝者当てクイズ》

投票総数 7,189人(昨年実績 1,374人) 賞品協賛社(13社 順不同)
ブリヂストンスポーツ(株)、(株)二木ゴルフ、(株)プロギア、朝日ゴルフ(株)、ピンゴルフジャパン(株)、ミズノ(株)、(株)ダンロップスポーツマーケティング、(株)フォーティーン、テーラーメイドゴルフ(株)、(株)阪神交易、(株)コラントッテ、アシックスジャパン(株)、ヨネックス(株)

《スタンプラリー》

参加者 277人（昨年実績 585人） 賞品協賛社（14社 順不同）
ブリヂストンスポーツ(株)、(株)二木ゴルフ、ミズノ(株)、(株)ダンロップスポーツマー
ケティング、アキラプロダクツ(株)、(株)フォーティーン、テラーメイドゴルフ(株)、
キャロウェイゴルフ(株)、(株)プロギア、(株)デサント、ヤマト徽章(株)、(株)阪神交易、
(株)コラントッテ、ピンゴルフジャパン

(2)「2019PGA フィランソロピー障害者ゴルフ大会」に賞品の提供と運営を支援した。

開催日：2019年10月8日（火）

開催場所：若洲ゴルフリンクス（東京都江東区）

主催：(公社)日本プロゴルフ協会

共催：一般社団法人 国際スポーツ振興協会 (ISPS)

後援：東京都、一般社団法人日本ゴルフ用品協会、若洲シーサイドパークグループ

参加者：聴覚障害者	22名	上下肢障害者	11名
内部障害者	7名	視覚障害者（全盲）	8名
上肢障害者	17名	視覚障害者（弱視）	15名
下肢障害者	20名	合計	100名

ボランティア：プロ 千葉15名、東京20名、神奈川17名、公募23名

サッポロビール社員 11名、学生 明治大学9名 計 95名

JGGA アレックス・ボーズマン会長、蓋専務、上原事務局長、北川の4名

◇賞品協賛社：28社（順不同、法人商号略）

プロギア、朝日ゴルフ、アシックスジャパン、キャロウェイゴルフ、フォーティーン、
二木ゴルフ、マジェスティゴルフ、有賀園ゴルフ、アクシネットジャパンインク、ダン
ロップスポーツマーケティング、藤倉コンポジット、ブロッサム、阪神交易、ブリヂス
トンスポーツ、ヤマト徽章、ヤマニ、ヨネックス、キャスコ、グローブライド、マスタ
ーズ、ミズノ、テラーメイドゴルフ、つるや、コラントッテ、本間ゴルフ、ヤマハ、デ
サントジャパン、アキラプロダクツ

[5] 関連団体との協調事業

1. ゴルフ市場活性化委員会 (GMAC) の活動

「ゴルフ市場活性化委員会」は当協会、(公財)日本ゴルフ協会、(一社)日本ゴルフ場経
営者協会、(公社)日本パブリックゴルフ協会、(公社)全日本ゴルフ練習場連盟、日本ゴ
ルフジャーナリスト協会の6つの団体から構成され、各団体が連携し、各団体の持つ機能
を融合させ、新たなゴルフ需要創造とゴルフの健全成長に向けた様々な取り組みを推進す
べく、「はじめよう、続けよう、もっとゴルフを」をスローガンに2004年11月より
活動をしている。

(1) 2019年の活動報告

1) ゴルマジの件 (リクルートライフスタイル)

2014年より若年層のゴルフへの参加をめざし、ゴルフ市場を長期的に活性化させ
る為に業界を巻き込んで取り組みを開始し今期で6年目が終了する。

6期目の状況報告（2020年2月結果）

ゴルフ場 69ヶ所（昨年同時期 104ヶ所）、練習場 121ヶ所（昨年 181ヶ所）

会員数 14,463人（昨年 24,000人）

19歳 約4,825人、20歳 約9,638人

クーポン発行数 18,642回（昨年 34,000回）

ゴルフ場約1,879、練習場約16,753

昨年より参加施設数は減少、会員数、利用回数も若干減少傾向

雪マジに代表されるマジ部（150万人以上が利用）の若者を横断的に巻き込んでレジャー体験をする若者を増やして、旅行にも結び付ける目的で力を入れている。

19、20歳の無料は継続、21、22歳は「ゴルマジ！卒業生企画」で社会人への入口として割引で対応する

- ① 施設ごとにレッスンクーポンの設定を可能にした
- ② 貸出クラブの破損が多い。デポジット制の導入で破損率を減少させる。
- ③ 来場時の他の客への迷惑を使用打席を限定するなどして制限する。
- ④ コースデビューを促す内容のメルマガやサポートする企画を SNS で配信する

2) 楽ゴルの件（楽天）

GORA の利用データからも 20代の参加は少なめである事の対策としてゴルフ未経験者を応援してゴルフ活性化に寄与する目的で実施している。

- ① 楽ゴルフクーポン（4,000円の割引券）の申請者は MAX 100名 / 月だが実利用者は 698名
- ② 練習場クーポンは公開練習場 377施設、利用者は累計 40,852名で昨年の 1.75倍

従来の楽ゴルフプランは中止した

岡山県のみのもるゴルフが練習場クーポンを利用して大いに利用度で躍進している。

3) 大学のゴルフ授業への協力

全国に有る 782の大学の内体育の授業で「ゴルフ授業」を導入しているのは約 580、そのうちコースラウンドまで行うのは約 50のみ、500強はグラウンドと体育館での授業という状況。授業の規模から想定して全国では年間数万～10万人の大学生がクラブを握ると推計出来る。

一昨年 6月に全国大学体育連合と PGA、GMAC の間で大学体育授業の充実とゴルフの普及を通じて地域社会の発展に寄与することを目的とした「連携協力に関する協定書」を締結した上で各団体が様々な活動で協力している。

目的 「ゴルフ授業」の更なる充実を目指し、受講大学生のゴルフ継続意欲を高め生涯スポーツとしての「ゴルフ」実施率を向上させ結果として国民の健康寿命の延伸を図るとともにゴルフ関連産業の経営安定化と継続を実現し、地域社会の発展に貢献する。

4) 「Gちゃれ」の開催と今後の計画

コースデビュープログラム「Gちゃれ」は「産学連携協定」以降に大学ゴルフ授業研究会及び GMAC の仲介を受けて設立され、ゴルフ授業並びにそれに準ずる教育（正課・正課外）の中でゴルフ場体験を行う活動を「Gちゃれ」としている。

JGGA 会員企業からの「Gちゃれ」用のクラブセットの寄贈も有り、「Gちゃれ」の開

催拡大に繋がっている。2016年～2019年度に掛けて「Gちゃれ」は97回開催し累計参加者は約1,500名を超えた。

(2) 活性化委員会の活動

1) ゴルフクラブの提供

JGGAでは大学授業で使われている古く、傷んだゴルフクラブの更新要望に応える為に各クラブメーカーに大学ゴルフ授業の充実に向けた取り組みに対して協力を要請し、16社から提供を受け対応した。授業で使うバラクラブ、「Gちゃれ」用のセットクラブを含めて、2020年2月までに延べ88の大学・学部にて約3,324本の授業用ゴルフクラブとGちゃれ用のセットクラブ156セットを送付した。

提供企業16社（順不同、商号略）

ヨネックス、キャスコ、フォーティーン、朝日ゴルフ、マジスティゴルフ、ピンゴルフジャパン、キャロウェイゴルフ、ブリヂストンスポーツ、ヤマハ、テーラーメイドゴルフ、ミズノ、本間ゴルフ、アクシネットジャパン、アキラピロダクツ、ダンロップスポーツ、プロギア

協力企業 *二木ゴルフ 川口倉庫を借用し在庫保管、配送業務作業を実施している次年度以降も出来る範囲で授業で使用するクラブの提供を継続しゴルフ授業を支援して行く。

(3) 関西市場活性化委員会 (関西 GMAC)

(参加団体) 関西ゴルフ連盟、ゴルフ場経営者協会、関西ゴルフ練習場連盟、パブリックゴルフ協会、日本ゴルフ用品協会西日本支部。

(委員会開催) 20年3月3日(火) 関西ゴルフ連盟にて開催。(議事録・資料別途)
パブリックゴルフ協会欠席。

①ゴルフ場経営者協会：

*本部主導にて、労働力不足への対応及び経営のコストダウン化を重点事項として活動中。

②関西ゴルフ練習場連盟：

*集客アップの勉強会を新規スタートさせた。(8月から年2回開催を予定)

*「フィランソロピープロ・アマ大会」新規開催。(9月 鳴尾GCにて)

*その他継続開催「連盟トーナメント(4月)」、「アマチュアゴルフ選手権(7月)」を実施した。

*2020年は、未加盟練習場へアプローチし連盟への加盟促進を図る。

③日本ゴルフ用品協会西日本支部：

*KGU主催の「ペアスクランブルゴルフ大会」及び「関西オープン」への協力を実施。

*「聖地巡礼／神戸ゴルフ倶楽部で体験会」を開催。

*2020年も引き続き継続実施を予定。

④関西ゴルフ連盟：振興事業報告(別途資料あり)

*初心者スクール：年間1万人規模は維持しており、累計で57,691人となっている。

*今後5年間で関西圏で失われる約10万人の需要減をカバーするために、初心者スクールをツールとして年率20%アップでのフォローを計画しており、関連団

体にも協力をお願いしたい。

各団体が情報を共有し、可能なレベルで協力をを行い、引き続き活性化を目指す。

(4) ゴルフ市場活性化セミナーの開催

2020年3月19日(木) 13:20~15:20

パシフィコ横浜 アネックスホール F205

ジャパンゴルフフェアの開催中止に伴いセミナーも中止

2. 日本ゴルフ関連団体協議会の活動

日本ゴルフ関連団体協議会(構成団体:当協会、(公財)日本ゴルフ協会、(一社)日本ゴルフ場経営者協会、(公社)日本パブリックゴルフ協会、(公社)ゴルフ緑化促進会)は、日本ゴルフサミット会議運営会議と連携し2020年1月22日(水)にANAインターコンチネンタルホテル東京において2020年ゴルフサミット会議、ゴルフ新年会を開催した。

尚2019年度はそのほかに2019年7月31日(水)と11月25日(月)に2回のサミット会議を開催し2020年サミット会議の活動テーマなどの策定を行った。

(1) 2020年ゴルフサミット会議

「プリズムの間」に於いて当協会アレックス・ボーズマン会長はじめ業界16団体の代表者の出席のもと開催され、2020年活動計画が検討され、以下の活動テーマを承認し、引き続き強力で推進すべきとの確認がなされた。

① 2019年活動状況についての報告

② 2020年活動方針の策定

I. ゴルフの活性化をはかる

1) 統一テーマに拠るゴルフ活性化への取組みの具体化と展開

1. 20歳代後半から30歳代前半のゴルフ実施率を10%強に引き上げる。

【具体的活動方針】

① 大学のゴルフ授業」充実に向けた産学連携協力の推進

② 「高等学校学習指導要領」の保健体育に「ターゲット型球技」を要望

③ 地域との連携による地域密着型ゴルフ振興

④ 日本ゴルフサミット会議参画団体間の連携強化

⑤ ゴルフ関連企業のゴルフ振興企画を援助推進

2. 選手強化

3. 女性ゴルファーの創造(開拓)

4. イメージアップ

2) 団体の活動目的に即した「ゴルフ活性化活動」

II. ゴルフ界も廃プラ削減に取り組もう!

III. ゴルフ場利用税廃止を求める運動

IV. 国家公務員倫理規程における「ゴルフ」の削除

V. 暴力団等反社会勢力の排除

出席 16団体代表者、代理出席者

(2) 2020年ゴルフ新年会の開催

- ① 新春特別講演会 11:30～12:30 B1F「ギャラクシー」
「世界水準の選手育成、そして、ゴルフ界に及ぼすインパクト」
講演者：JGA ナショナルチーム ヘッドコーチ ガレス・ジョーンズ氏
- ② 賀詞交歓パーティー 12:40～14:30 B1F「プロミネンス」
16団体代表挨拶（公財）日本ゴルフ協会 竹田 恆正会長
参加者総数：約700名（報道関係者含む）

3. ジュニア育成活動

(1) NPO 法人日本ジュニアゴルファー育成協議会（JGC）

- ① JGGA ジュニア委員会は、JGC（当協会を含む10団体で構成）と連携しジュニアゴルファーの育成に努めている。
 - ・ JGC は世界中の人々がゴルフを通じて健康的で豊かな生活がおくれるように子どもたちへのゴルフの普及啓発活動、指導者養成事業を行い社会教育の推進及びスポーツの振興に寄与することを目的に1999年に関連10団体により創設され、2004年にNPO法人の認可を受けた。
 - ・ その事業内容は
 - i) それぞれの団体の活動をコーディネートし、子供たちが継続してゴルフに接し、楽しめるような環境を整える。
 - ii) 活動に必要なさまざまな資料を提供する。
 - iii) 全国各地でJGC活動を支援協力くださっている方々を組織化し、活動の促進を図る。
 - iv) 事業・活動に関わるゴルフレッスンの専門指導技術のみならず社会教育学習内容を伴う講習会、研修会を開催する。
- ② JGC ジュニア育成指導者「コーチトレーニングセミナー」開催・
- ③ その他
 - i) ジュニアゴルフ普及事業
 - ii) コーチ要請事業
 - iii) 普及・啓発事業

(2) JGGA ジュニア委員会の活動

- ① 「日立3ツアーズチャンピオンシップ」に協力
2019年12月9日（日） グリッサンドゴルフクラブ（千葉県）
スナッグ体験コーナーには56名が参加
ジュニアレッスン参加者にグリーンマーカー進呈100ヶ（ヤマト徽章協賛）
- ② ジャパンゴルフフェア2020ジュニア関連報告
残念ながらジャパンフェア中止の為実績は無し

4. (公財) 日本ゴルフ協会（JGA）

- ① R&A「用具規則変更」等に関する連携
(R&Aとのミーティングの開催、R&A用具規則セミナーの開催、リリースの翻訳 etc)。

②「第4期ゴルフ用品販売技術者講習会」への講師派遣を要請。(ゴルフ用具規則)

5. スポーツ用品公正取引協議会

①市場正常化に対応する事業活動面での連携

「スポーツ用品の表示に関する公正競争規約」の遵守に関する諸問題の解決に向けて、双方よく連携して市場正常化に向けて取り組んだ。

②「第4期ゴルフ用品販売技術者講習会」において「スポーツ用品の表示に関する公正競争規約」の周知徹底のため講習科目を継続して実施した。

また規約パンフレットの提供を受け、規約遵守に向けて対応した。

6. (一財)生活用品振興センター

①生活用品PLセンターの製品事故情報の入手。

②「模倣品輸入品防止マニュアル」の提供と模倣品対策の参考資料。

7. 全国運動用品商工団体連合会

①スポーツ用品情報ネットワーク構築のための研究会との連携。

②2020年新春記者懇談会の開催に向けた連携。

[6] 情報及び資料収集と整備

1) 業界に関する統計資料の整備

品別国内出荷数量・金額の統計資料、品別輸出輸入統計資料、小売販売分析資料、ゴルフ場数・延べ利用者数などの統計資料を整備し、内外部からの問合せに対応した。ゴルフ産業白書、スポーツ産業白書、レジャー白書などを必要に応じて購入して対応した。

またゴルフ場入場者情報は(一社)日本ゴルフ場経営者協会より入手しJGGAニュースで紹介。

講習会受講生に国内出荷の統計資料提供。

Ⅲ. 会議の実施状況

1. 通常総会

通常総会は、2019年6月12日(水)に大阪市のメルパルク大阪で開催され、下記の事項が承認された。

- 1) 2018年度の事業報告及び決算報告について
- 2) 2019年度の事業計画及び収支予算について
- 3) 役員選任承認に関する件

2. 理事会

第1回	2019年	5月15日(水)	東京ガーデンパレス
第2回	2019年	9月18日(水)	東京ガーデンパレス
第3回	2019年	11月13日(水)	東京ガーデンパレス
第4回	2020年	3月11日(水)	ダンロップスポーツマーケティング東西

3. 委員会・部会 各委員・部会は、次のとおり開催された。

1) 総務委員会

2019年5月15日(水) 総務委員会 9/18、11/13、
計3回

2) 広報委員会

2019年4月25日(木)～ 隔月開催 6/26、8/28、10/30、12/26、
2020年2/27 計6回

3) 講習会委員会

2019年4月18日(木)～ 6/19、8/23、9/19、11/14、2020年
2/6 計6回

4) ジャパンゴルフフェア実行委員会

2019年5/22～、6/27、7/23、10/7、12/9 2020年1/23、
2/19 計7回

5) ゴルフフェア委員会

2019年5月15日(水) フェア委員会 その後9/18、11/13 計3回

6) ゴルフ市場活性化委員会 (GMAC)

2019年4月24日(水)～ 5/23、6/18、7/25、8/22、9/24、
10/29、11/14、12/10、2020年1/15、2/13 計11回

7) JGGA 活性化委員会

2019年4月19日(木)～ 6/22、9/20、11/22、12/7、2020年
2/7 計6回

8) 製造渉外委員会 (5/10以降は全体会議を開催、標準化WGのみ別途開催)

・製造渉外委員会 2019年 5/9、*6/21、9/12、11/7、2020年
1/9、*2/5 計6回

*はR&Aミーティング

9) インダストリーカップ委員会

2019年4月18日(木)～ 9/19、11/14、2020年2/6 計4回